

令和7年度予算が成立しました

一般会計 887億3,968万円

※補正予算(第1号)の
4,559万2,000円の増額を含む。

(前年度当初予算比 83億6,768万円・10.4%増)

令和7年度予算は、これまで取り組んできた政策の4つの柱を発展させつつ、次世代に引き継ぐための実効性のある取組として進めるとともに、施設等の老朽化対策にも積極的に予算配分した編成となっています。また、物価高騰等への対応は、国の経済対策の趣旨も踏まえ、本市独自の対策を実施し、持続可能で自立的な自治体経営の確立を目指し、公債費管理の徹底をはじめとした財政基盤の強化に取り組んでいきます。

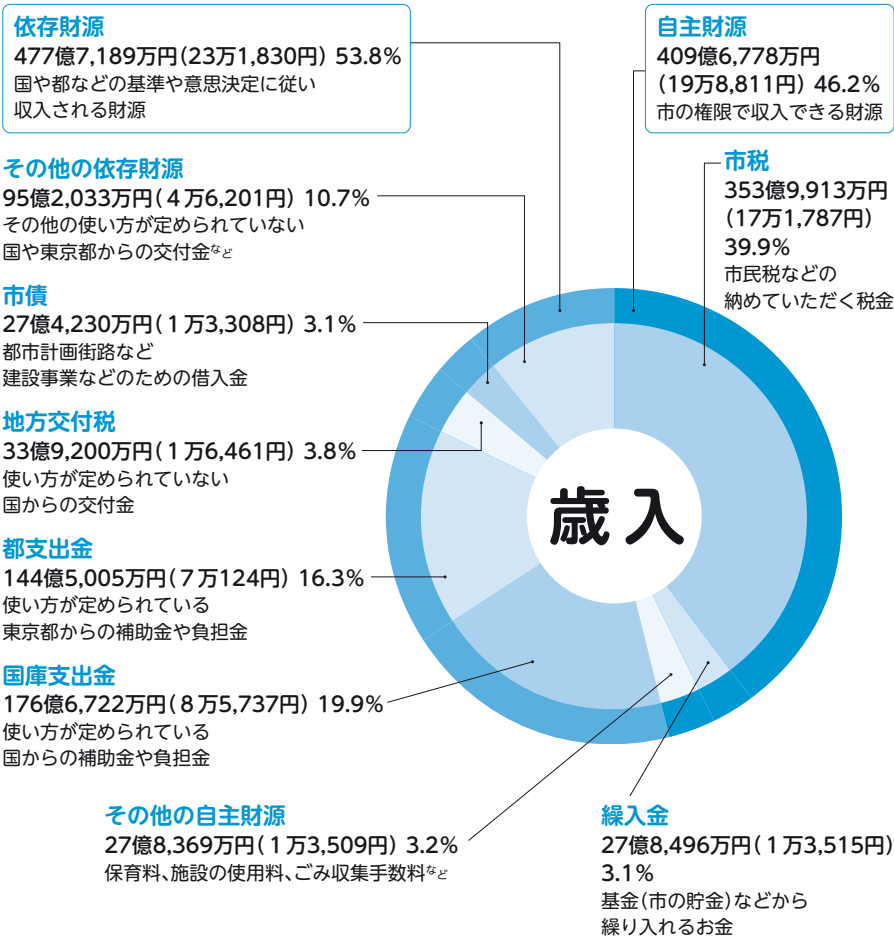
※各予算額は原則として表示単位未満を四捨五入していますので、合計と一致しない場合があります。

より詳しい内容は、情報公開コーナー
(田無庁舎5階)・市HPにある『令和7
年度予算の概要』でご覧になれます。

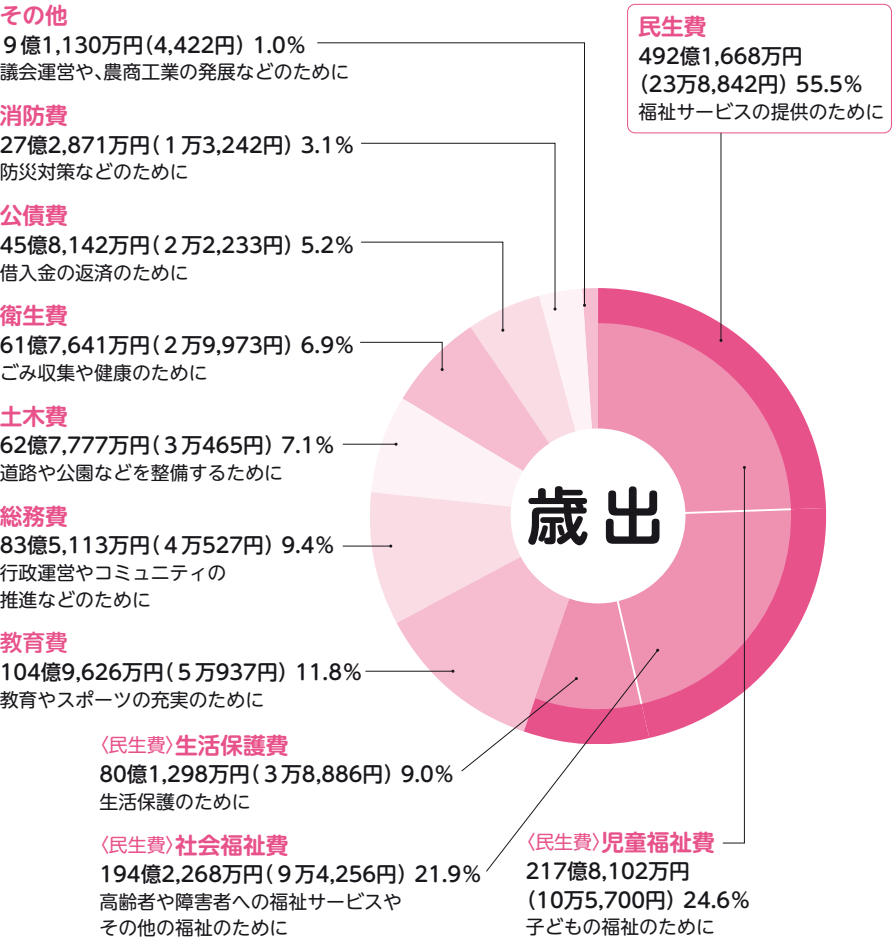
▶ 財政課 ☎ 042-460-9802

一般会計

歳入 887億3,968万円(市民1人当たり43万641円)



歳出 887億3,968万円(市民1人当たり43万641円)



歳入・歳出の()内は「市民1人当たり」の金額です。 ※「市民1人当たり」の金額は、令和7年3月1日現在の西東京市の人口(20万6,064人)で計算しています。

平成26年度からご負担いただく税が増えています。

【地方消費税交付金】
増えた分：平成26年4月および令和元年10月の消費税引き上げによる
地方への交付金
⇒令和7年度歳入予算のうち32億8,500万円
使い道：子育て支援や障害福祉関係などの社会保障

森林環境譲与税の使い道

予算額：2,400万円
使い道：「地球温暖化防止対策基金」に積み立て、地球温暖化防止の取組など。なお、令和7年度は「地球温暖化防止対策基金」を田無柳沢学童クラブの備品に係る木材利用、姉妹・友好都市での環境学習事業などに活用

都市計画税の使い道

予算額：26億8,935万円
使い道：都市計画事業およびこれまでに都市計画事業を実施するときに
借り入れた地方債の償還など
なお、令和7年度からは、「都市計画事業基金」を都市計画事業に活用

特別会計および公営企業会計

区分	令和7年度予算額	増減率
特別会計	433億8,410万円	0.9%
国民健康保険特別会計	189億2,455万円	△0.5%
駐車場事業特別会計	1億2,469万円	10.3%
介護保険特別会計	185億2,392万円	1.5%
後期高齢者医療特別会計	58億1,094万円	3.2%
公営企業会計	43億5,319万円	8.6%
下水道事業会計	43億5,319万円	8.6%

※下水道事業会計の予算額は、支出予算の総額としています。

令和7年度の主要な事業

共通	● トイレカーの購入、防災キャビネット、避難所となる学校へのマンホールトイレの設置など ● 田無第三中学校校舎等建替および周辺エリア構想 ● 事業者の物価高騰等への対応
総務費	● 平和事業の推進 ● 防犯活動団体への防犯カメラ設置の推進 ● 防犯対策用品などの購入支援
民生費	● 認知症施策の推進 ● ひきこもり支援の推進 ● 子どもの医療費の自己負担の撤廃 ● 子育て支援ショートステイ事業の拡充 ● 中高生特化型児童館の整備 ● 学童クラブの過密緩和のためタイムシェアの実施校を拡充
衛生費	● アピランスケアの支援 ● ゼロカーボンシティを目指す地球温暖化対策事業の実施 ● PFASの調査
農林費・商工費	● 都市農業の支援の拡充 ● 商店街活性化の推進
土木費	● 公共交通ネットワークの拡充に向けた取組 ● 鉄道駅ホームドア設置の推進 ● まちなかベンチの設置 ● 鉄道の連続立体交差化に向けた取組 ● 西東京都市計画道路の整備 ● 雨水溢水対策事業の推進 ● 南町遊水池、都市計画公園等の整備
消防費	● 在宅避難の啓発を目的とした全世帯への携帯トイレの配布
教育費	● 西東京市GIGAスクール構想におけるタブレット端末の更新 ● 学校施設等の高架水槽などの老朽化対応 ● 学校給食費の無償化の拡充 ● 文化財の保存・活用事業の充実 ● スポーツ施設の改修